

令和3年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	袖ヶ浦市立代宿児童館				
施設担当課名	子育て支援課				
指定管理者名	代宿区				
指定期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日（5年間のうち1年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input checked="" type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市代宿75番地1				
施設の設置目的	子どもの遊び場の提供				
指定管理業務内容	①施設・設備の維持管理に関すること ②施設の運営に関すること ③利用の許可に関すること ④危機管理に関すること ⑤事業計画・報告書等の提出に関すること ⑥モニタリングの実施に関すること ⑦情報公開・個人情報の保護に関すること ⑧各種統計調査資料・環境調査等作成に関すること				

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数（日）	293	292	99.7%	178	164.0%
施設利用者数（人）	5,000	2,260	45.2%	860	262.8%
貸室（設備）稼働率（%）	0.0%	0.0%	—	0.0%	—
事業開催数	10	10	100.0%	7	142.9%

3 施設の経営状況

（単位：千円）

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	3,007	3,005	99.9%	2,353	127.7%
利用者当たり管理コスト	0.60	1.33	221.1%	2.74	48.6%
利用者当たり自治体負担コスト	0.60	1.33	221.1%	2.74	48.6%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己評価	担当課評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	B	B
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	A
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	B
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	—	—
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	A	A
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	A
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	A	A
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	B	B
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	—	—
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 個》	10個	A
* 指定管理者の自己評価	新型コロナウイルスの感染予防対策として、管理指導員が「エタノール」等による館内外の消毒・除菌について研修し、館の利用前と館終了後に徹底した「消毒・除菌」と、換気の徹底、空気清浄機を設置し、利用者に安全・安心の「遊びの場」を提供できた。		
* 施設担当課の評価	新型コロナウイルス感染予防対策に力を入れており、管理指導員による消毒・除菌が徹底されているため、今後も安全・安心を意識し、継続して行っていただきたい。		
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	A
3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	A
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	A
II の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 個》	4個	A
* 指定管理者の自己評価	利用者アンケートは、新型コロナウイルス拡大防止対策、遊具の種類、館内の清潔度など各項目とも過半数以上が「A そう思う」と回答し、利用者の満足度は高い。また、管理指導員の児童館業務に対する意識も高く、乳幼児、小・中学生の新刊本を購入し、読書に興味関心を向け静かな環境づくりにも取り組んだ。館庭の整美、プール清掃等、地域団体の協力で経費の節減を図った。施設の経年劣化はあるが、さらに館内外の整備に力を入れていきたい。		
* 施設担当課の評価	利用者の満足度が非常に高いことがわかる。コロナ渦という様々な制限を設けた環境でも最大限のものを提供することができている。		

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	担当課評価
			A	A
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に取り組んだ。保守管理業務は、「健康・安全」を最重要に仕様書に基づいて適切に行った。館内の遊具を整え、質の高い遊び場を提供した。		
	施設担当課	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により多くの制限が設けられている中で、最大限のものを提供することができており、かつ新型コロナウイルス感染拡大防止対策も最大限できている。		
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	館庭の環境に「砂場」を設置。また「うさぎのベンチ」も設置したところ、多くの利用者、親子が笑顔で座っている光景が見られている。「卓球」は付添の方も童心に帰って子供と一緒に楽しんでいた。「トランポリン」は人気があり、頻度が高いので、怪我をしないように、管理指導員は「安全」に留意している。		
	施設担当課	行動的な小学校高学年の児童や、中学生による卓球等の遊び方が乳幼児等にとって危険なものにならないよう、注意していくことが課題である。		

《評価区分》

①評価基準	A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である
②総括	A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている
③総合評価	A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である B (良好) = 総括がすべてB以上である C (課題含) = 総括がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている